

足場組まずにシャッター設置

[足場いらず] / 日本住宅オプション協会



初出展の日本住宅オプション協会（東京都豊島区）は「足場いらず」の商品の現物を展示。「足場いらず」は足場を組まずに戸建ての2階以上の窓にシャッターを取り付けることができる設置台だ。近年、防犯や防災の観点からシャッター需要は高まっているものの、足場代を含んだ見積もりを提示すると断念する顧客が多い。「足場いらず」は足場代より安価にシャッターを設置できることが大きなメリットだ。リフォーム業者、工務店のほかにも、建材メーカーやホームセンター関係の来場者からも注目を集めた。

クラウドで運転情報管理

[車両管理システム] / スマートドライブ



クラウド型車両管理システムを使い、安全運転管理や運転日報、走行履歴の管理ができる。リアルタイムでの位置の確認や走行ルートが把握できたり、運転のクセを把握して安全運転を目指せる。アルコールチェックの結果をクラウド保管することも可能。

初出展の商品も多数

リフォーム産業フェア 2023



展示ブースレポート 後編

7月19日・20日に東京ビッグサイトで開催されたリフォーム産業フェア。来場者の注目を集めたブース・商品を2回にわたって紹介する。2回目はスマートドライブ、ハウディーなど8社。コロナ禍を経て、実際に触ったり、体感できるブースや商品が人気を集めた。

新色キャビネット初お披露目

[オリジナルキャビネット] / ハウディー



輸入建材を取り扱うハウディー（東京都台東区）は洗面キャビネットに新色のトリュフを追加予定。今回初お披露目を行った。既存色ホワイトと合わせて2色のパリエーションだ。また、ツマミの人気投票も同時開催。15種類のツマミを展示した。

自分好みにできるガレージ収納

[Flexible Lifestyle Storage] / ダイロー



ウッドデッキや手すりなどエクステリア商材を扱う「空間ソムリエ」シリーズから新たにガレージ収納を9月に発売予定だ。特徴はパネル取り付け機能があること。柱間に市販のパネルやフックを自由に

取り付け可能。また、耐荷重150kgまで天井収納が可能。販売目標台数は年間50台。

香りでブランディングを

[高性能業務用ディフューザー AIRQシリーズ] / ダーウィン



業務用ディフューザーのレンタルサービスを提供するダーウィン（東京都港区）。初期導入費用0円で、店舗・オフィスの広さに応じた業務用ディフューザーを月額制で提供。メンテナンスは無料、50種類以上の香りから選べるフレグランスオイルも費用に含まれる。宿泊施設の玄関やショールームなどに導入実績あり。嗅覚に訴える「ブランドセントマーケティング」を掲げる同社のブースでは実際にディフューザーが稼働しており、来場者たちが足を止めていた。

巻物にした巾木で施工時間短縮

[巾木S+] / 東都積水



巻物にした長尺巾木を販売している同社。長尺巾木を巻物にすることで施工時間の短縮と物流性や保管性を改善した。特に準備時間は従来の木製巾木と比べ70%の短縮ができる。また、保管時に場所もとらない。色はホワイトの

一色だ。

石綿調査者講習をPR

住建センター



石綿含有建材調査者講習を行う同社。サービスを開始した2022年の冬頃から受講者は増加。現在は北海道から沖縄まで講習を開催しているが、ほとんど満席だ。有資格者による報告書の作成が義務化される10月に向けて需要が高まっている。

報告書の作成が義務化される10月に向けて需要が高まっている。

どこでも水回り増設ポンプ

[SFAポンプ] / SFA Japan



SFAポンプとは大掛かりな工事をせずに水回りの移設や増設を可能にする商品。今回はシンクや手洗い器の増設に使用する排水圧送ポンプの「SANISPEED+」とトイレの増設に使用する排水粉砕圧送ポンプ「SANIACCESS3」の2種類を展示した。

排水粉砕圧送ポンプ「SANIACCESS3」の2種類を展示した。

教えて善さん

Vol.1

どうする？電気代！

電気代が高騰し、また電気自動車(EV)が普及し始めたなか、新たなリフォーム市場が広がっているのを、ご存知でしょうか？ EVを活用したリフォーム市場をはじめ、VPPやDR、FIP等国策に関わるキーワードについてわかりやすく解説する新連載スタートです。

Q 今年も猛暑で、エアコンはフル稼働です。電気代もすごいことになっていませんか？ EVを売ったとよく話題になります。さすがにもうこれ以上値上がりはしないし、どこかで安くなるのではと期待しているのですが、今後どうなるんでしょう？ 教えて善さん。

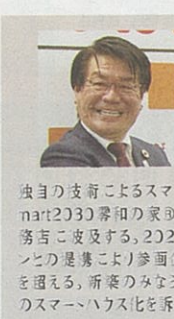
A 私は工務店様に「Smart2030零和の家」という独自開発したスマートハウスのノウハウを絆ジャパン様と一緒に普及活動していただきます。加藤善一と申します。上りの続ける電気代！なぜ電気料金の値上げが起きているのか？ 今後暮らしの変化にどう対応すれば不安を払拭できるかをお伝えします。電気料金の値上げの主たる原因は火力発電の燃料高騰です。3・11東日本大震災以降、原子力発電というベースロード電源停止により、代替電源である火力発電に頼り、原材料のすべてを輸入に依存している我が国は、LNG(液化天然ガス)の仕入れ価格の異常なほどの値上げに電力会社が耐えきれず、設定してあった「燃料費調整額」の上限を撤廃しました。

急激な高騰による生活負担を減らすために、現在は国が1kWhあたり7円を補助していますが、10月からは5円

電気代はさらに家計を圧迫する!?

円と補助は半額になり、さらに家計を圧迫するでしょう。今後おそろく電気代の値上がりは止まりません。そうであるならば、電力会社に依存して電気を買うという暮らしを見直し、家で使う電気は自分の家ですべて暮らしたいです。太陽光発電を設置して、また大容量の蓄電機としてEVを活用、蓄えた電気を自家消費する蓄電住宅を建てることで電気を買わない暮らしができます。そして天候や住む人の暮らしのパターンまで考慮し、どの設備をどの電気で充電するのか、放電するのかをAIが制御するスマートハウスが賢い暮らし方をするには必要なのです。

スマートハウス、エネルギーリフォームが今後の暮らし方の提案としてのキーワードになります。



エスイーエー 加藤善一社長

独自の技術によるスマートハウス「Smart2030零和の家」を全国の工務店に普及する。2021年、絆ジャパンの選定により、参加企業150社を擁する、所業のみならず、現存住宅のスマートハウス化を追求している。